



大阪府立大学ダイバーシティ研究環境研究所 パンフレット

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-04-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15769

事業の目的

異分野融合・共同研究の女性研究リーダーへの支援、女性上位職の両立支援など、産学官連携に強みを持つ本学の女性研究リーダー育成のための取組を推進します。

目標と行動計画

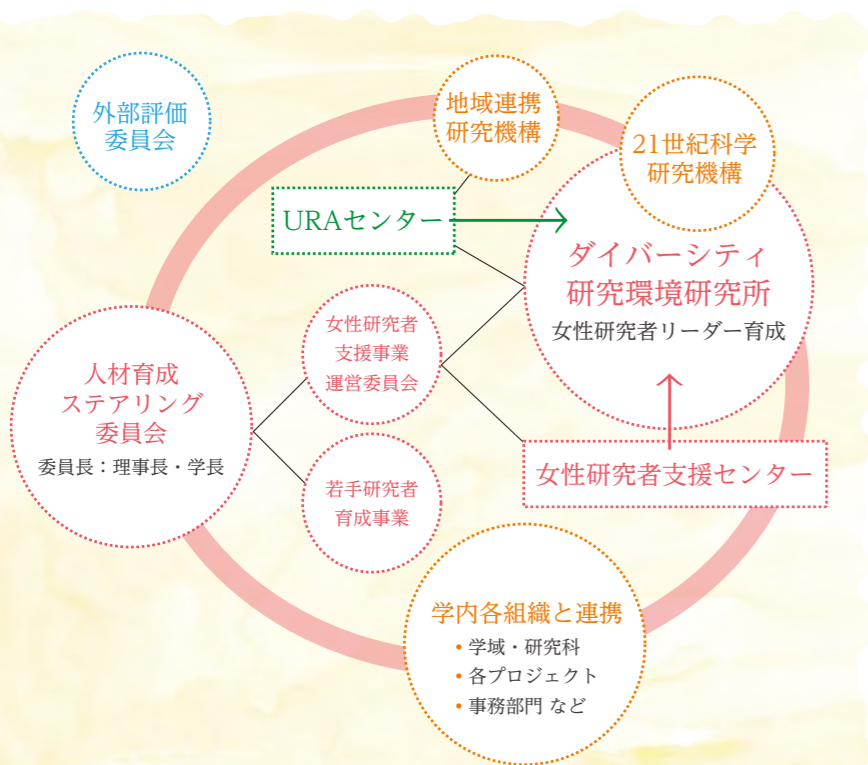
第3期（平成29～34年度）中期計画と中期目標に目標・行動計画を位置づけます。

- 平成28年度以後、新規採用における女性教員比率30%
- 平成32年度に、女性教員比率21%
- 女性教授ゼロの部局ゼロ
- 上位職（教授・准教授・講師）における女性比率23%
- 上位職（副学長・理事・学長補佐）における女性比率25%

取組の概要

- 学内にダイバーシティ研究環境研究所を設立し、女性研究者リーダーの育成と上位職に就くための支援を行います。
- 女性比率の数値目標達成のための計画を部局ごとに取り組み、高成果の部局にインセンティブを付与して支援します。
- 若手女性研究者の支援として、パーソナル・ポートフォリオ（上位職へのロードマップを含む）の活用と研究力強化プログラムを実施します。

実施体制



多様な人材活用推進の基本方針

大阪府立大学が公立大学としての存在意義を高め、地域に信頼される存在となるためには、地域社会や産業界を牽引する人材が本学から持続的に巣立ち、広く世界に翔く（はばたく）ことでその証を立てなければならない。それらを追求するため、日本のみならず世界の研究型大学の変革の起点となり、地域に信頼される知の拠点となるべき基本理念を表す言葉として、「高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点」を掲げている。

本学が目指す大学像の実現には「多様」「融合」「国際」という3つのキーワードがある。革新的な知を創出する拠点となるためには、年齢・性別・国籍の違いを超えて、異なる価値観や経験・背景をもつ「多様」な人材が集い、互いに知的触発を受ける環境が不可欠である。そのうえで多様な人材が切磋琢磨し価値を「融合」することで新しい知を創出し、そして「世界」に発信する。

したがって本学は、多様性の実現こそが今後の教育研究の活力の源泉であるとの認識の下、若手研究者や外国人研究者、女性研究者がそれぞれの能力を最大限に発揮できるよう、本学構成員の意識改革、環境の整備、支援相談システムの構築などを推進する。そして、活力あふれる「知」の創造の場を形成し、本学の理念を実現する。

大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境研究所

〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1-1
(中百舌鳥キャンパスB16棟)

TEL
072-254-9649

FAX
072-254-9856

E-mail
diversity@ao.osakafu-u.ac.jp

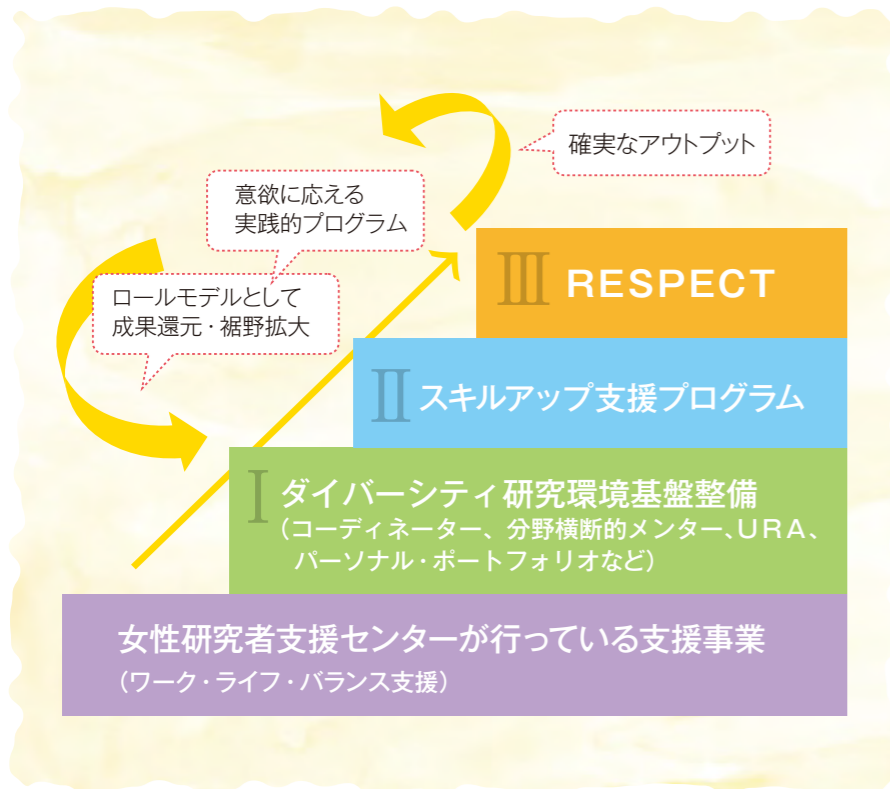


大阪府立大学 ダイバーシティ 研究環境研究所 Research Center for the Diversity Research Environment



ダイバーシティ研究環境研究所の取組

ダイバーシティ研究環境研究所が行う支援事業



I ダイバーシティ研究環境基盤整備

■ 女性教員・研究者数、比率の増加のための取組を行います。

部局単位で、一定の女性研究者採用比率を確保する人事計画を策定し実施します。

部局の取組のうち、目標達成度の高い部局にダイバーシティ研究環境整備費を付与して支援します。

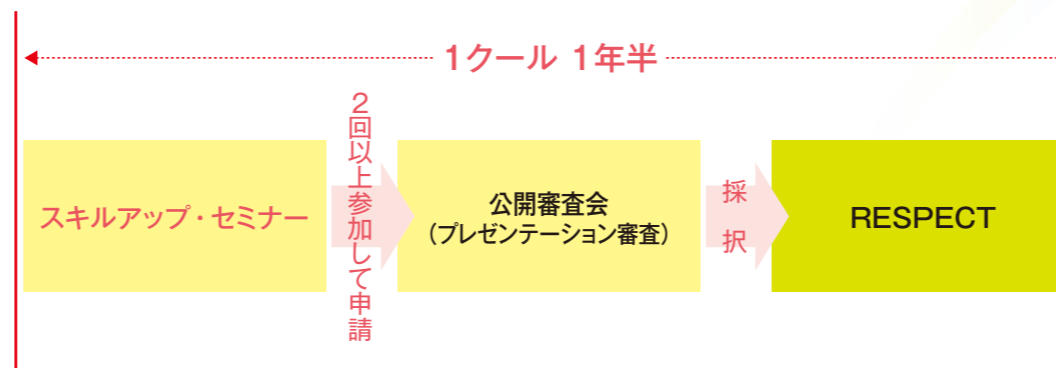
女性上位職の両立支援および、博士研究員・教員（特認含む）の研究とライフイベントとの両立・復帰支援として、研究支援員の配置などを行います。

■ 女性若手研究者（助教および准教授以下の新規採用者）に対して、分野横断的に女性メンターを配置します。

■ ダイバーシティ研究環境研究所コーディネーターと、女性メンター、担当URAが連携し、研究者のパーソナル・ポートフォリオ（昇任に向けてのロードマップを含む）を作成し、研究力向上の支援を行います。

II スキルアップ支援プログラム

■ スキルアップ支援プログラムの目的と位置づけ 女性研究者を対象としたスキル向上に資するために行うプログラム（1クール1年半）。新規採用の若手女性研究者は必修。



※セミナーについて

「外部資金獲得セミナー」

目的▶ 外部資金獲得のためのスキルアップ

「英語論文作成セミナー」

目的▶ 研究成果を海外へ発信する力をつけること

「プレゼンテーション力向上セミナー」

目的▶ プレゼンテーション力及び教育力の向上

「マネジメントセミナー」

目的▶ 研究チームや研究室・部局を運営するマネジメント力のある上位職の養成

III RESPECT (研究実践力強化支援プログラム)

■ RESPECTの目的と位置づけ 女性研究リーダーの育成のため、スキルアップ支援プログラムの上位研修プログラムとして、RESPECTを実践します。

目的

女性研究者がリーダーシップを発揮し、研究グループを形成して研究活動を推進するために、インセンティブを付与し、研究の加速を支援します。

研究活動の区分

- ① 共同研究リーダーシップ……大学、企業、高専、公設試験研究機関など複数の教育研究機関の研究者が参加する共同研究グループ
- ② グローバルリーダーシップ……海外研究者（国内在住者含む）と連携を行う研究グループ
- ③ 研究者育成リーダーシップ……博士研究員、博士課程（社会人含む）在籍、又は進学を目指す女子学生、女子社会人を含む研究グループ
- ④ 地域連携リーダーシップ……特に大阪地域の大学、企業、高専、公設試験研究機関など複数機関の研究者との共同研究グループ

インセンティブ

- ・ 研究支援員雇用、研究に関わる経費（物品購入、英文校正費、国内旅費など）の支援
- ・ コーディネーターやURA（リサーチ・アドミニストレーター）による各種マッチング支援、外部研究資金獲得支援
- ・ 若手研究者（准教授以下）へのメンターの配置

採択後の実施事項

- ・ 研究内容に関する英文ホームページ開設、および英語でのプレゼンテーション（年1回）、自分の課題解決に必要なスキルアップ支援プログラムへの参加
- ・ 採択後2年以内に、以下のいずれか1項目を実施すること
 - A) 学会、講演会、セミナー等での発表 B) 論文、雑誌等への投稿 C) 外部研究資金申請 D) 特許出願
 - E) 企業等との共同・受託研究等契約 F) 記者発表・取材等

その他

■ 異分野研究領域を融合した研究の促進

■ 理系女子人材の発掘とキャリア支援

■ 公立大学としての地域連携力の活用